

県議会だより

平成30年9月
定例議会

県立特別支援学校の空調整備前倒し、 県有施設ブロック塀の安全対策を含む 平成30年度補正予算を可決

平成30年9月定例愛知県議会は、9月21日に開会し、26日間の会期を経て10月16日に閉会しました。
その概要をお知らせします。



知事提出議案の提案理由説明のようす

議員提案 (意見書)

議会の意思を国政に反映させるため、次の7件の意見書が可決され、衆参両院議長及び内閣総理大臣始め関係大臣等に提出されました。

- 学校環境の安全の確保について
- 地方財政の充実・強化について
- キャッシュレス決済の普及について
- 災害対策の充実強化について

- ライドシェア導入の慎重な検討について
- 自動車諸税の抜本的見直しについて
- 児童虐待防止対策の更なる強化について

知事提案

知事から、「平成30年度愛知県一般会計補正予算」や「愛知県地球温暖化対策推進条例の制定について」など39件の議案(予算:2、条例:9、その他議案:28)並びに平成29年度一般会計・特別会計決算12件及び公営企業会計決算4件が提出されました。39件の議案は、本会議の審議、委員会の審査を経て、すべて可決又は同意されました。

代表質問

9月27日、次の3人の議員が県政各般にわたる問題について、それぞれの会派を代表して質問しました。



自由民主党 坂田 憲治

1 行財政運営

(1) 県税収入の見通しと今後の財政運営

2 活力と魅力あふれる愛知の実現

- (1) アジア競技大会の開催に向けた取組
- (2) 名古屋競馬
- ア 名古屋競馬の経営改善状況と移転整備
- イ 名古屋競馬場の跡地利用

(3) あいちの花の輸出促進

3 新しい時代に飛躍する愛知づくり

- (1) 地球温暖化対策の推進
- (2) 航空機産業の振興

4 次代を担う人づくり

(1) 次期特別支援教育推進計画の策定

5 安全・安心な暮らしの実現

- (1) 若年者への消費者教育の推進
- (2) アレルギー疾患の適切な医療を受けられる体制の整備
- (3) 県管理河川における豪雨災害対策
- (4) 交通安全対策

6 県知事選挙に対する知事の考え

詳細は下記にて

主な質問及び答弁内容

県知事選挙に対する知事の考え

質問 来年2月の任期満了に伴う愛知県知事選挙まで、残り5か月ほどとなった。大村知事は、平成23年2月の選挙で初当選して以来、愛知の総合力を一段と高めるため、県政の様々な分野に、精力的に取り組んできた。

2027年とされるリニア中央新幹線の開業まで10年を切っている。東京一極集中に歯止めをかけ、魅力あふれる愛知を実現するためには、大村知事が強いリーダーシップを発揮し、この地域がこれから進むべき道筋をしっかりと示していかなければならないものと考えている。

これからの県政のあるべき姿をどのように描き、愛知県の未来の発展や県民福祉の向上に向けて、今後どのように施策を進めていくつもりなのか、自身の去就を含め、決意を伺う。

答弁 私が知事に就任した平成22年度をボトムとして、その後愛知の経済全体の大きさである県内総生産は20パーセントに近い成長を実現し、直近の平成27年度の数値では約40兆円で、大阪府を抜いて全国第2位となり、まさに日本の経済産業をけん引する成長エンジンとして、さらに大きな発展を遂げてきた。

私は愛知県知事として、これまでの2期7年半、「日本一元気な愛知」と豊かさを実感できる県民生活を実現するため、県政のあらゆる分野に全力を注いできた。この先も、グローバルな都市間競争に打ち勝ち、世界中に圧倒的な存在感を示すことができる、日本一元気な愛知として、さらに発展を続けていかなければならないと考えている。これからも、引き続き、県民の皆様から与えられた任期をしっかりと十全に全うし、さらに、日本をリードする未来の愛知の発展にも責任を担っていきたくと考えている。



新政あいち 谷口 知美

1 愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略

(1) これまでの成果と課題、今後の取組

2 あいち重点政策ファイル300プラス1

(1) 進捗状況の評価と今後の取組

3 女性の活躍促進

(1) 「あいち・ウーマノミクス」による女性の起業支援の成果

(2) 働く女性に魅力的な県にするための今後の取組

4 仕事と治療の両立のための環境整備

5 子どもたちを守り、子育てをサポートする取組

6 高齢者が安心して暮らせる住環境づくり

7 困難を抱えた若者たちへの支援

8 生物多様性における愛知目標達成に向けた本県の取組

詳細は下記にて

9 食と緑を支える県民の豊かな暮らしづくり

10 サイバー犯罪対策

11 インターネット世代の子どもたちのコミュニケーション能力の育成

主な質問及び答弁内容

生物多様性における愛知目標達成に向けた本県の取組

質問 2010年に本県で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)では、全世界に発する「愛知目標」が採択された。本県としては、まずは愛知の名を冠した世界目標に対して、自治体の立場からの取組を展開していく必要がある。本県では、2013年3月に「あいち生物多様性戦略2020」を策定し、積極的な取組が展開されていると承知している。愛知目標の目標年である2020年までは、あと2年である。本県は、国内外における愛知目標の達成と、生物多様性の保全に向けた取組をリードしていかなければならない。2020年までの愛知目標達成に向けた本県の取組の進捗状況はどのようなになっているか伺う。また、生物多様性の保全に向けて、今後さらにどのようなことに取り組んでいくのか伺う。

答弁 本県では、「あいち生物多様性戦略2020」に基づき、愛知目標の多くの個別目標に関連する「生態系ネットワークの形成」と「あいちミティゲーション」を中核に、様々な取組を推進している。戦略で掲げた214の行動計画のうち、7割の項目で目標達成に向けて順調に進捗しているところである。今後は、取組の深化を図っていく。一方、愛知目標の達成には、世界全体での取組が不可欠であり、本県が主導して「愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合」を立ち上げ、国際的な評価と成果を得てきている。今月、連合のメンバーであるブラジル・サンパウロ州との間で連携の強化に向けて覚書を締結したところであり、ポスト愛知目標に向けた議論にも関与していきたい。こうした取組により、県内、国外において愛知目標の達成に積極的に貢献し、世界の取組を引き続きリードしていく。

一般質問

9月28日、10月1日及び2日の3日間にわたり一般質問が行われ、次の21人の議員が県政の当面する諸課題について質問しました。

中根義高(自民)

- 1 森林整備と林業の振興
- 2 中小企業の事業承継、IoT活用
- 大嶽理恵(新政)
- 1 中小企業のメンタルヘルス
- 2 児童の放課後や夏休み等の居場所
- 3 東三河振興

□新海正春(自民)

- 1 特別支援教育の推進
- 2 広田川及びその支川の河川整備

□市川英男(公明)

- 1 県管理道路の路面下空洞調査
- 2 来日外国人犯罪
- 3 病児・病後児保育

□山田たかお(自民)

- 1 農地の価値向上
- 2 豊かな海の実現
- 3 地球温暖化対策の推進
- 4 道路、橋梁の管理

□福田喜夫(新政)

- 1 愛知用水の調整池やため池の耐震対策
- 2 産業廃棄物の不適正処理等
 - (1) 産業廃棄物中間処理事業所の火災
 - (2) 産業廃棄物の不法投棄

- 3 2019年世界ラリー選手権日本ラウンド

□川嶋太郎(自民)

- 1 水素社会実現に向けた取組
- 2 介護における多様な担い手による取組

□森井元志(新政)

- 1 事業承継
- 2 プチ起業支援
- 3 小幡緑地公園の魅力の向上
- 4 オープンデータの推進
- 5 児童虐待防止

□成田 修(自民)

- 1 住宅対象侵入盗対策
- 2 公立学校における施設整備

□島倉 誠(自民)

- 1 訪日外国人に対する医療体制
- 2 都市計画道路・瀬戸大府東海線の工事進捗状況と今後

□鈴木まさと(新政)

- 1 土砂災害対策
- 2 獣害対策
- 3 多文化共生の取組

□今井隆喜(自民)

- 1 流域下水道の持続可能な事業運営に向けて

- 2 土地改良区の運営
- 3 医療的ケア児の地域移行支援

□渡辺 靖(新政)

- 1 三河湾の環境
- 2 農福連携の推進
- 3 河川・海岸堤防の耐震対策

□藤原宏樹(自民)

- 1 気候変動を踏まえた今後の河川整備
- 2 東三河の地域振興
- 3 都市計画道路姫街道線の整備

□田中泰彦(自民)

- 1 スポーツ人材の育成
- 2 精神障害への取組

□河合洋介(新政)

- 1 特別支援教育に関する諸課題
 - (1) 特別支援学校におけるごみ処分
 - (2) 特別支援学校における緊急時対応
- 2 公共交通における鉄道役割

□下奥奈歩(共産)

- 1 災害対策の抜本的強化
- 2 エアコン設置など、熱中症対策
 - (1) 熱中症対策
 - (2) 学校へのエアコン設置
 - (3) 特別教室・体育館と子育て関連施設へのエアコン設置

- (4) 生活保護世帯へのエアコン設置

3 性犯罪・性暴力被害者支援

- (1) 性暴力被害者支援ワンストップ支援センター等の周知
- (2) ワンストップ支援センターの東三河への設置
- (3) 性犯罪・性暴力被害者支援交付金

4 愛知県看護修学資金の貸付

□山本浩史(自民)

- 1 渥美半島における広域道路ネットワーク

□木藤俊郎(公明)

- 1 県立の高校生に対する交通安全教育と三不運動

2 中小企業支援

3 防災・減災

- (1) 空き家対策
- (2) 福祉避難所

□政木りか(自民)

- 1 自動運転の社会実装に向けた取組

□安藤正明(自民)

- 1 農山村地域の防災・減災対策
- 2 農業振興のための県独自の支援制度
- 3 アジア競技大会における名古屋競馬場跡地の活用に関する提案

委員会

10月4日、5日、9日及び10日に各常任委員会が開催され、それぞれ付託された知事提出議案及び請願の審査や一般質問が行われました。

決算特別委員会

一般会計・特別会計決算特別委員会、公営企業会計決算特別委員会が設置され、平成29年度一般会計・特別会計決算12件及び公営企業会計決算4件が付託されました。決算は議会閉会中に継続して審査が行われることとなりました。〈 〉内数字は委員数、◎は委員長、○は副委員長

□一般会計・特別会計決算特別委員会(12名)

- ◎奥村悠二(自) 石塚吾歩路(自) 高木ひろし(新)
- 渡会克明(公) 山本浩史(自) 高橋正子(新)
- 神野博史(自) 渡辺周二(自) 中村すすむ(新)
- 寺西むつみ(自) 伊藤辰矢(自) 佐波和則(新)

□公営企業会計決算特別委員会(12名)

- ◎鈴木 純(新) 森下利久(自) 樹神義和(新)
- 飛田常年(自) 鈴木喜博(自) 大嶽理恵(新)
- 水野富夫(自) 田中泰彦(自) 筒井タカヤ(県)
- 中野治美(自) 西久保ながし(新) 岩村進次(無)

※会派は次のとおり略称としました。

- (自) = 自由民主党愛知県議員団 (県) = 県政自民クラブ
- (新) = 新政あいち県議団 (無) = 無所属
- (公) = 公明党愛知県議員団

請願

1件の請願が提出され、関係常任委員会で審査された後、本会議で審議され、不採択とされました。

お知らせ

●平成30年12月定例愛知県議会(予定)

- 会 期: 12月3日(月)～20日(木)
- 代表質問: 12月5日(水)
- 一般質問: 12月6日(木)、7日(金)
- 委員会: 12月11日(火)～14日(金)

●ホームページ

- 本会議等の日程や質問通告、結果概要などの情報を掲載しています。
 - 本会議及び委員会の会議録について順次掲載しています。
 - 本会議中継や、おむね過去1年分の録画中継を行っています。録画映像はスマートフォン、タブレット端末等からもご覧いただけます。
 - テレビ放送「愛知県議会だより」を一定の間、動画配信しています。
- ぜひ、ご覧ください。 <http://www.pref.aichi.jp/gikai/>



●議会PRコーナー(議事堂1階)

議会のあゆみや、議事堂の変遷、議会のしくみや役割などを大型画面やタッチパネルなどで紹介しています。

●傍聴の御案内

県議会では、多くの皆様に議会の活動状況を知っていただくよう、本会議、委員会の傍聴制度を設けています。本会議の傍聴を御希望の方は議事堂4階の傍聴受付まで、委員会の傍聴を御希望の方は議事堂1階の議事課へお越しください。(開催日時、受付時間については事務局にお問い合わせください。)